

# 平成24年3月定例会



平成24年第1回定例会は、2月17日から3月13日までの会期26日間で開かれました。

総額1,659億7,100万円の平成24年度一般会計予算案など63議案を原案どおり可決しました。

このほか、副市長や監査委員の選任など3件の人事案件に同意するとともに、議員提出の市議会委員会条例の一部改正案など2件についても可決しました。

なお、請願5件のうち1件は不採択、残る4件は継続審査となりました。

## 請願の審議結果

議会に提出された請願の審議結果をお知らせします。

◆介護保険料の引き下げを求める要望について  
(不採択)

## 代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して議員6人が代表質問を行いました。  
その概要は、次のとおりです。

## 明政会



桑原 正和 議員

### ばらのまち福山の発信を

**問** 100万本のばらのまちづくり推進事業により、ばらのシンボルロードの整備をはじめ全市でばらを植える計画をして

いる。完成が間近の福山駅前広場では、福山を訪れた人がばらのまち福山を直感できるような魅力ある交流の広場とするためどのように工夫しているのか。



整備事業が完了した福山駅前広場

**答** 交通結節点の機能強化に加え、一目見て、ばらのまち福山を実感でき、多くの市民が親しみ、憩うことができる空間づくりをめざして整備しており、ばらを中心に四季が感じられる植栽、ばらのアーチやばらのトンネルの設置、路面には、ばらをモチーフにしたタイルの設置などを予定している。

## 第4次行財政改革の取り組みは

**問** 23年度からおおむね5年間を取組期間とした第4次行財政改革大綱と実施プランを策定し、「自立性が発揮できる行政体制の確立」「市民の力が発揮できる自主・自立のまちづくりの推進」の二つの視点に基づき取り組んでいる。①取り組みへの決意は。②職員への周知は。

**答** ①厳しい行財政環境の中、財政規律を踏まえた健全で持続可能な行財政基盤を確立し、効果的効率的な行財政運営を行うことが必要であり、今後も大綱に基づき改革の歩みを緩めることなく取り組む。②研修やイントラネット掲示板への掲載等を通じ、実施プランの内容の共有化を図っており、職員一人ひとりがコスト意識に基づいた行政感覚を発揮し取り組むことで、実施プランに掲げた目標の達成をめざして取り組んでいる。

## 競馬事業について

**問** 市長は、24年度も継続し